

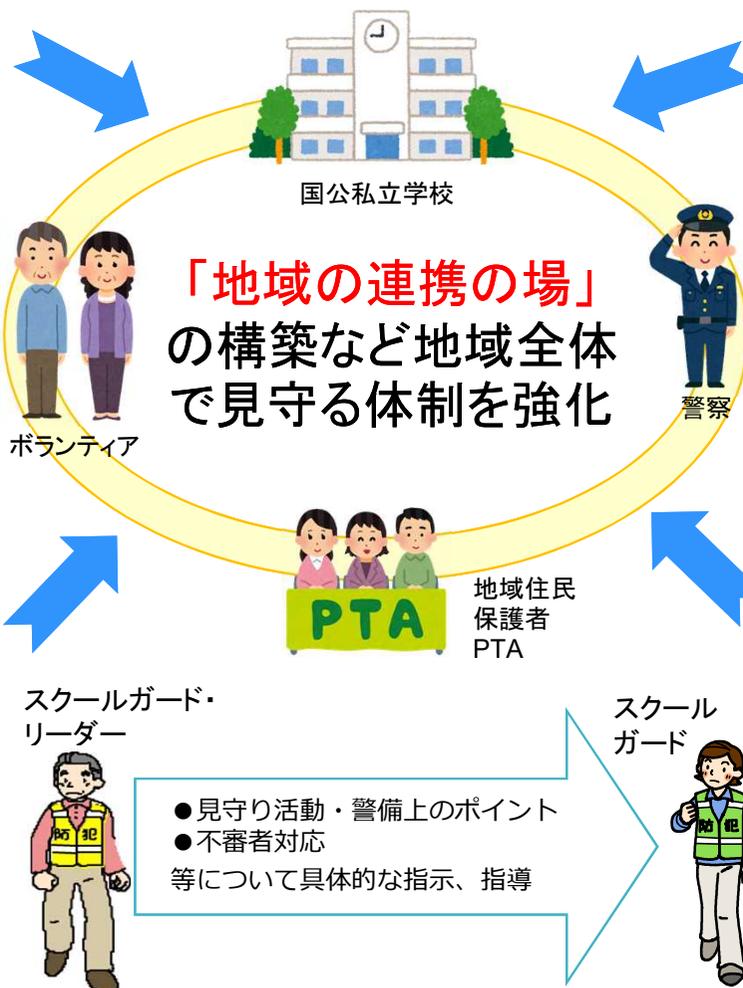
学校、通学路の安全確保に向け、昨今の児童生徒の尊い命を奪う交通事故・事件の発生も踏まえ、スクールガード・リーダー増員による見守りの充実や、スクールガード等のボランティアの養成・資質向上を促進することにより、警察や保護者、PTA等との連携の下で見守り体制の一層の強化を図る。

■実施主体:都道府県及び市町村

■補助率:国庫補助率1/3、都道府県、市町村各1/3 ※市町村直接実施の場合2/3負担

## スクールガード・リーダー増員による見守りの強化

- スクールガード・リーダー (SGL) の空白地帯の解消に向け、現行の1,700人体制から4,000人体制へ増員
- スクールガード・リーダーの資質を備えた人材 (警察官OB・教職員OB・防犯協会役員等) に対する育成講習会の実施 (年間1地域10回開催)



## スクールガード (ボランティア) の養成・資質向上

- 通学路で子供たちを見守るスクールガードの防犯に対する知識、非常時の対応策等を身に付けさせるための養成講習会を実施 (年間1地域10回開催)
- 最新の安全に関する情報、不審者情報の共有

## スクールガード・リーダーに対する活動支援

- スクールガード・リーダーによる指導、見守り活動に対する謝金、各学校を定期的に巡回するための旅費等の補助
- 装備品の充実 (防刃ベスト等)
- 学校等の巡回活動等を円滑にするため、スクールガード・リーダーの連絡会等の開催を支援 (全市町村)

## スクールガードに対する活動支援

- 通学路や学校で子供の見守り活動の強化を図るため、「登下校防犯プラン」等に基づく防犯活動への支援 (全市町村)
- [活動例]
- ・防犯訓練の実施・通学安全マップの作成・登下校時のパトロール・地域の連携の場構築